

令和6年度 学校評価報告書

学校番号(小25) 長崎市立(式見小)学校

1 教育目標

四気満ちて笑顔の花咲く学校
 ○やる気：自ら進んで勉強する子・学力の向上を目指す学校
 ○こん気：粘り強く努力する子・美しく静かな学校
 ○げん気：元気に運動する子・健康で安全な学校
 ○ゆう気：優しく思いやりのある子・子どもの笑顔があふれる学校

2 学校経営方針

○子ども・保護者・地域から親しまれ、信頼される学校づくりに邁進する。
 ○学習・生活習慣の基礎基本の徹底を図り、学力向上に全力で取り組む。
 ○全職員の共通理解と共同実践によって、教育目標の具現化に努める。
 ○教育専門家としての自覚をもって研修に励み、子どもの可能性をのばす学級・学校の実現に努める。
 ○式見小学校いじめ防止基本方針を基盤に据え、子どもの人格を重んじ、子どもを全力で守り育てる決意をもって、個性を生かす指導に努める。
 ○教育環境・学習環境の整備と美化に努め、子どもの心身の健全な発達を図る。

3 重点目標

○やる気：複式授業を中心とした学力向上につながる授業改善、基礎学力の定着及び活用力の向上、学習規律の徹底、ふるさと学習の充実
 ○こん気：目標を持ち、最後まで頑張る態度の育成、明るいまはつ習慣化、心を磨く清掃指導の徹底、心を整える後片付けの励行
 ○げん気：運動に親しみ、継続して体力づくりに取り組む子どもの育成、よりよい生活習慣の確立、健康安全教育の充実・推進
 ○ゆう気：一人一人のよさを伸ばす学級経営の充実、温かい心を育む言語・物的環境整備、異学年交流で育てる思いやりの心の育成、読書活動の推進

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	95	100	100	○児童、保護者、教職員ともに、学校の雰囲気明るく楽しいととらえている。しかし、ごく一部の児童は肯定的にとらえていないことから、毎月の生活アンケートをはじめ、子どもに寄り添う姿勢を継続していくようにする。業務改善においては改善が図られているといえる。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	98	96	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			100	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	100	100	100	○全体を通して、数値の上昇が見られる。人権教育、平和教育、特別支援教育の指導を今後も継続的に行っていくことで、いじめを生み出さない学校づくりを推進していく。 ○あ・は・は運動においては、令和4年度以降徐々に数値が上がってきている。他の領域との関連が深いことから、繰り返しの指導と啓発を継続していく。
		挨拶をよくしている	95	100	100	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	91	100	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	100	100	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	100	100	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	98	100	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	100	100	100	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	100	100	100		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	98	100	100	○確かな学力に関して、児童及び保護者の評価は概ね良好である。 ○地域の特性もあり、バス通学の児童は、バスを待つ間に地域センターで宿題を済ませていることが多い。そのため、保護者は家庭で学習に取り組む姿を見る機会が少なく、左記の数値になっているものと思われる。 ○キュービナの取組を含め、宿題以外の自主的な学習課題の工夫を図っていくようにする。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	95	96	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	95	75	100	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	98	96	100	
長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである		100				

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	93	100	100	○全般的に良好である。今年度実施した生活習慣に関する講演会をきっかけに、実践を始めている家庭も少なくない。 ○5・6年の家庭科と連動させて栄養教諭を活用したことで、給食指導及び食育指導に関する児童の意識が高まった。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	93	100	100	
		体力向上に努めている	93	100	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	98	96	100	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	98	100	100	○全体的に大変良好な結果である。 ○本校教職員は地域行事に対する関心が高く、年度当初に年間計画を示し、見通しをもって参加している。地域の方たちも教職員の参加をととても喜んでいる。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	98	100	100	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	98	100	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	100	96	100	○校舎等の老朽化もあり、継続して施設の補修に努めている。市も学校の要望に応えていただき感謝している。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

○「家庭学習の習慣」に対する保護者の数値を除き、他の項目はすべて90%以上の評価となった。令和5年度と比較しても全体的に上昇している。今後も小規模校の強みを生かした式見らしい教育活動の継続と工夫を図っていききたい。

○今年度は、創立150周年記念式典を開催し、児童の学校に対する思いや考えを発信する姿を多くの方々に見ていただくことができた。教育活動を広く公開することで、地域の学校への理解を深めることができたと感じている。この式典を契機として、今後も学校、家庭、地域が連携し、協働する教育実践の推進に努めていく。

○家庭学習の習慣化は、児童・教職員の評価が上昇した一方で、保護者の評価は、今年度も75%と昨年度からほぼ横ばいである。次年度以降も校内研究の一環として「式見小学びのスタンダード」の周知・活用を図るなど、保護者に届く取組の工夫を図っていく。また、家庭学習の定着を図ることに加え、保護者が家庭学習に対し、どのように感じているのか把握する機会を設定し、情報共有・意見交換しながら、さらなる家庭学習の充実を図っていく。

6 学校関係者評価

○地域の人との関わりを好意的に受け止めたり、地域の行事等で役立ちたいと感じたりする児童の実態がある。実際に今年度も式見くんちをはじめ、地域行事に多くの児童が参加し、自分にできることを進んで引き受けたり、協力して行ったりしながら、式見を盛り上げていこうとする姿がみられた。地域と学校、児童の関わりが児童の成長につながっていると感じる。これからも連携を深めていくことが大切である。

○学習や行事で一人一人に発表等の機会が多いことは、小規模校の利点である。今後もその利点を生かし、人前で動じずにはきはきとしたあいさつや発表ができる児童に育てほしい。

○家庭学習に対する保護者の評価は、他の項目より低くなっているが、これは、自分の子どもに対してはより厳しい目で見ていくからではないか。対外的に出すアンケートでは、我が子の学習状況を満足と回答する保護者は少ないのではないかと。先生方の家庭学習に対する数値が向上していることを好意的に捉え、今後も家庭と連携しながら、指導を継続していくことが大切ではないか。

○児童の言葉遣いについては、地域の中でも、親しいあまり丁寧さにかける時がある。地域の大人の子どものに対する言葉も荒い時がある。親しき中にも礼儀をもって接することが大切かもしれない。最近はネット動画やSNS等の影響もあり、児童の言語環境に不安を感じる時がある。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

◎今回の結果は、児童や保護者からの学校への信頼と期待という認識で前向きに捉え、今後の教育活動の励みとしていく。保護者や地域と連携し、良い評価については継続発展を目指し、改善が必要な項目に関しては、組織として対応し、校内のPDCAサイクルを充実させ、その成果を学校・家庭・地域で共有する。小規模のよさとまとまりの強い地域性を生かし、式見地区とともに歩む教育活動を今後も展開していく。

○式見小の児童は、地域の人に声をかけてもらったり、地域行事の中でいろいろなことを学んだりしながら、のびのび成長している。そのよい風土を大切にするためにも、今後も地域コミュニティー連絡協議会や育成協、ペーロン協会、文化協会等をはじめとする各種地域団体と連携しながら、教育活動を進めていく。具体的には、学校の文化的行事「式見っ子発表会」と地域の「ふるさと祭り」を合同開催(共催)し、地域の方々との交流の場とするとともに、児童の日頃の学習成果を多くの方に発表する機会とする。

○家庭学習においては、本校が作成している「学びのスタンダード」の家庭への周知と活用を一層推進するとともに、PTA役員会や学級懇談会の場などを活用しながら、保護者の思いや意見を吸い上げ、家庭学習における課題の整理やその改善について、学校と保護者が協働して、継続的に取り組んでいくようにする。

○式見地区は、とても親和的で家庭的なコミュニティーであるがゆえに、児童の目上の人への言葉遣いに丁寧さがかかる場面がある。挨拶と言葉遣いについては、学校の重点指導事項として位置づけ、今後も引き続き指導を継続していく。また、地域の方にも児童の言動について指導してもらおうと同時に、地域の中での児童の善行についても情報を寄せてもらい、児童にフィードバックするなど、学校・地域の見守りの中で児童の健全育成に努める。

○インターネットやSNSの活用など、児童を取り巻く環境が急速に変化し、複雑化していくが、今年度、2回実施したメディア講演会などのような大人と児童の学びの場を次年度もPTAと連携して設定する。